

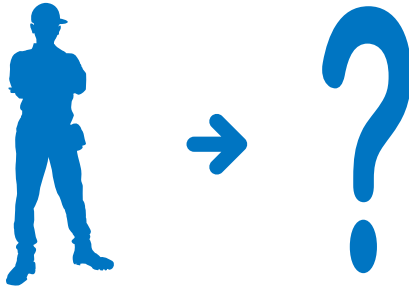
# 建設業 進化論

マイナスをプラスに変える、栃木県の建設業



栃木県建設業協会の両面見開き広告を令和3年1月22日付け下に、「安定」「成長」「貢献」の3つの切り口で、私たちの技や担い手確保を促進するものです。「建設業進化論」および3ご紹介します。

## 基本的な考え方



### 「変える」ためには、「変わる」こと

高齢化が進行する中、建設業にとって人材の確保は重要な課題です。その対策としては、見栄えが良い「広告」を行うことも考えられます。しかし、そのような広告は巷にあふれ、今時なかなか信頼されません。大手ゼネコンをはじめ、これまで多数の広告が作られてきましたが、結果として課題は残ったままだったのではないのでしょうか。

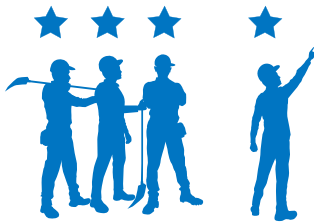
おそらく、人びとが抱くイメージを変えるには、見栄えだけを変えても難しい。自分たちのイメージを変えるには、自分たちが本当に変わることに、より良くなるようとする姿勢を示すことだと考えたのです。



### 同じ星をみつめる

では、一人ひとり、考え方やイメージが異なる中で、私たちはどのように変わっていけばよいのでしょうか。

まずは、社会の中で自分たちはどういった存在か、これからどうなりたいかといった価値観や理想像を話し合い、未来に向けて共通の目標を掲げること。そして目標達成に向けた具体的な行動を計画し、段階的に実行していくことです。そうした取り組みを重ねる中で、仲間同士の連帯がますます深まり、毎日の働き方に意義が生まれ、生産性やサービスの質も高まっていくと考えました。



### 一人ひとりが、伝道者

私たちが話し合い、私たちの理想を掲げ、私たちが計画・実行していく…そのような「私たちの姿」は、人びとに対しリアリティをともなって、共感や興味を喚起するのではないかと期待します。

そして、私たちが主体であるからこそ、誰よりも私たち自身が自らの言葉で、私たちの価値や魅力を人びとに伝えることができるのです。新聞や雑誌、YouTube、SNS等は、あくまで何かを伝える「媒体」でしかありません。大切なのは「何を伝えるか」。その答えを私たち一人ひとりが持つようになるのです。

